

## 三学部横断型ゼミナール・プロジェクト 2019 最終報告会 開催

### —企業の CSR 報告書を作成し、発表—

日時：2019年7月13日（土）

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、2019年度前期「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称：三学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の最終報告会を7月13日（土）に開催いたします。授業「学部横断型課題解決プロジェクト」は2008年度に正規科目となってから、今年で12年目を迎えています。

### 三学部横断型ゼミナール・プロジェクト最終報告会の概要

本プロジェクトの特長は、経済学部、人文学部、そして社会学部の学生から成るチームを構成し、お互いの専門知識をぶつけ合い、協働して一つ課題に挑戦することです。

課題は、担当する課題提供企業の《CSR 報告書の作成》と《今後の CSR 活動と CSV 活動について提案をする》です。協働作業の中で学生は「横のつながり」の重要性を認識し、学生の自己管理能力、チームワーク、リーダーシップなどを養いながら、実社会を深く知ることができます。

■ 日時・場所 ※事前予約不要・途中入場可

日時：2019年7月13日（土） 11：00～13：15

会場：武蔵大学 江古田キャンパス 8号館 8503教室

発表者：武蔵大学 三学部横断型ゼミナール・プロジェクト 履修生

### ■ 内容

11：00～11：25 来賓のご紹介・プロジェクトの概要説明・関係者挨拶

11：25～12：10 株式会社ライクスチーム発表

12：20～13：05 株式会社大川印刷チーム発表

13：05～13：15 全体の講評



↑ 昨年度最終報告会の様子

### 三学部横断型ゼミナール・プロジェクトの学習目的

#### ■ 社会人基礎力を育成する

異なる専門性・価値観をもつ複数の学部の学生同士がひとつの課題に向けて取り組むことで、同一学部内のゼミでは経験したことのない種類のチームワーク、リーダーシップ、自己管理能力を育成する。

#### ■ 正確な自己評価能力の育成を目指す

プロジェクト期間を通じて、各種評価ツールの活用、SNS（ブログ）への活動記録の記入、事前・中間・事後のキャリアコンサルティングを実施。単なる課題解決にとどまらず、生涯学習力につながってゆく「正確な自己評価」能力の育成を目指す。

#### ■ CSR（社会的責任）を果たすことの意義と難しさを理解する

課題＝「CSR 報告書の作成」を通して、学生みずからも一市民として、持続可能な社会を築くために果たすべき役割を意識させ、現代社会を生きる上で必要となる「多様な視点」を身につける。

#### —報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1